

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立小原木小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒988-0512
宮城県気仙沼市唐桑町岩井沢97-3
 E-mail : koharagi-sho@kesenuma.ed.jp
 Website : www.kesenuma.ed.jp/koharagi-syou

児童生徒数：男子 23 名 女子 18 名 合計 41 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

テーマ『ふるさと小原木 ～ 今を見つめ、未来を考える ～』

<1・2年生活科> ふるさと学習

放流した鮭の稚魚が、5年生になった時に戻ってくることを願って、サケの稚魚を放流する。

<3年 総合的な学習の時間> ふるさとを知ろう

ふるさとに伝わる文化や伝統行事、施設について、見学や調査、体験活動を通してその価値を知り、地域のよさに気付く。

<3年 総合的な学習の時間> 防災探検隊

身近な地域の防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、マップにまとめる活動を通して、防災への意識を高め災害への備えの大切さに気付かせる。

<4年 総合的な学習の時間> ふるさとの環境

自分たちの生活と身近な環境との関わりに気付き、環境を守ろうとする実践的な態度を育てる。

<5年 総合的な学習の時間> ふるさとの海と生きる

地域の主産業である漁業を中心とした様々な体験的活動（漁業関連施設訪問、定置網起こし体験、地魚調理）を取り入れることにより、自然と地域のつながりについて理解を深める。

<6年 総合的な学習の時間> ふるさとの未来

地域のよさを見つめ、地域の特性を生かした町づくりの大切さ、その実現に向けて自分たちができることについて考え実践しようとする。

(2) 今年度、特に工夫・改善したこと

- ・「総合的な学習の時間」の指導計画を見直し、学習活動の時期と内容が適切に行われるようにした。
- ・震災により大きな被害を受けた当学区において、防災・減災に関する学習を行うことはとても重要なことである。そこで、年間を通して計画的に防災活動を取り入れるとともに、3年生の「総合的な学習の時間」に、防災教育の内容を加えた。

(3) 成果と課題

① 成果

- ・「ふるさと小原木～今を見つめ、未来を考える～」を全体のテーマに設定し、地域や学校、児童の実態等に応じて、教科との関連を図りながら、探究的な学習、児童の興味・関心等に基づく学習など、工夫を生かした学習内容を設定した。
- ・自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れた。

② 課題

- ・東日本大震災により被災した当地域では、人的・物的な地域環境の変化が大きかったため、地域の教材や学習環境の活用、保護者や地域の方々、各種団体等との連携・協力の面などにおいて工夫が必要だった。
- ・児童数の減少、それに伴う教職員の減少により、学習内容・活動が制限される場面もある。特に、見学や調査、発表や討論などの学習活動では、広がり・深まりが難しい。

